

30~60分で固まる

高粘度・コンクリート充填補修材

セメント粘土

特長・用途

- ・水を加え、粘土状の固さに練り、手で丸めてそのまま手で詰められる高粘度の充填補修材です。普通セメントに比べ、ダレにくいので、型枠もコテも要らず、だれにでも手軽に作業できます。
- ・超速硬性で気温20℃~25℃で約30~60分、夏期はそれ以上早く硬化します。
- ・コンクリートの壁面、立上がり部分などの穴やスキ間などを埋めるのに便利です。

使用方法

- ① 超速硬性ですから、混練の前にまず施工箇所の汚れ、ホコリを落し、**充分に水を含ませて下さい。**
(水の含みが少ないと、接着面が硬化不良を起こし肌割れの原因になります。)



- ② セメント粘土を適当な容器に取り出し水を加えながら素早く混ぜ合わせて下さい。

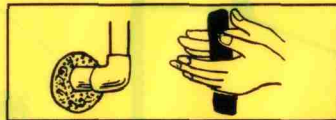


水量は1袋(1,300g)に対し、水240ccの割合です。水が多過ぎないように気を付けて下さい。
用具は適当な板切れなどで結構です。

- ③ 3~4cm以下の小さな穴は、穴より大きめに手で丸めて、そのまま押し込んで下さい。



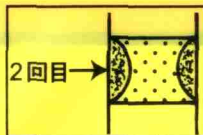
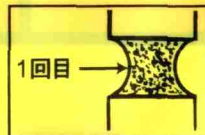
- ④ 配管のスキ間や、細長いワレ目などは、スキ間より太目の棒状に伸ばし、押し込んで下さい。



- ⑤ 4~5cm以上の穴は、一度に埋めると多少ダレたり、気温の高い時期は硬化が早く作業しにくくなりますので2度に分けて埋めて下さい。まず、半袋分(650g)の材料を取り出し、半分の量の水(120cc)で素早く練り合わせて下さい。

[1回目]…凹レンズ状に仕上がるように、穴の周囲から順次中心部へと作業して下さい。

[2回目]…5~30分経って、表面を指で押さえ固くなったら、残り半分の材料で凹面を埋めて仕上げして下さい。



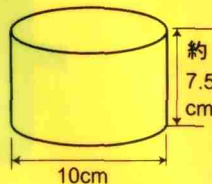
- 水を加えるとわずかな時間で硬化が始まります。硬化し始めた材料に再び水を加えて練り直しても使えません。(硬化不良になり、うまく固まりません。)

- 幼児の手の届かないところへ保管して下さい。

- セメントのアルカリで手が多少アレます。皮フの弱い方はゴム手袋をつけて作業して下さい。もし、肌についた場合はよく水で洗い、後、ハンドクリーム等を塗って下さい。

- 万一、目に入った場合は、すぐに清水で充分洗眼し医師にご相談下さい。

1袋(1.3kg)で埋められる容積



PE, PA

BDG1.3

